

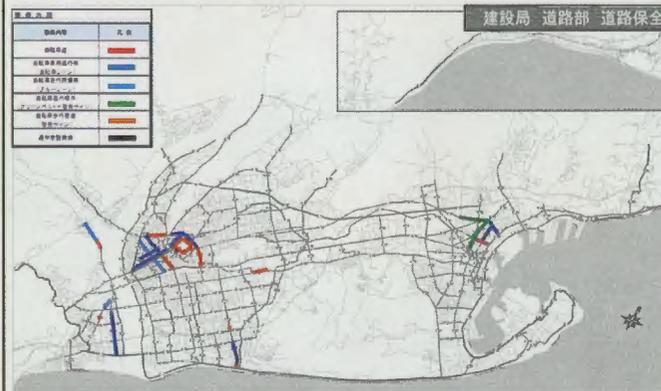
## 自転車走行空間整備箇所



### 平成21~24年度 整備箇所

建設局 道路部 道路保全課

整備内容	色
歩道整備	赤
自転車専用走行空間	青
自転車走行空間整備	緑
歩道・自転車専用走行空間	黄
自転車専用走行空間	紫
歩道整備	黒



### 平成25年度 整備予定箇所

建設局 道路部 道路保全課

整備内容	色
歩道整備	赤
自転車専用走行空間	青
自転車走行空間整備	緑
歩道・自転車専用走行空間	黄
自転車専用走行空間	紫
歩道整備	黒





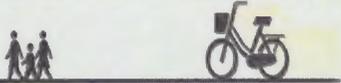
**ご清聴  
ありがとうございました。**



整備前



整備後




## 静岡市自転車道ネットワーク整備



平成25年5月31日

静岡市 建設局 道路部  
道路保全課  
交通安全施設担当



## 目次

1. 静岡市自転車道NW整備計画
2. 備事手法
3. 整備箇所




## 静岡市自転車道ネットワーク整備計画



自転車を取り巻く状況 一静岡市一 自転車道NW整備計画

■近年、自転車利用ニーズが高くなっている

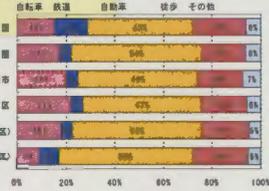
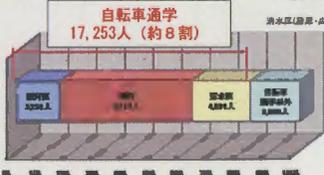
- ・自転車の保有台数は、昭和45年の約2倍(平成19年、県)
- ・代表交通手段における自転車利用割合が高い(全国平均:15% 静岡市:20%)
- ・静岡市内の高校生の約8割が自転車通学をしている。

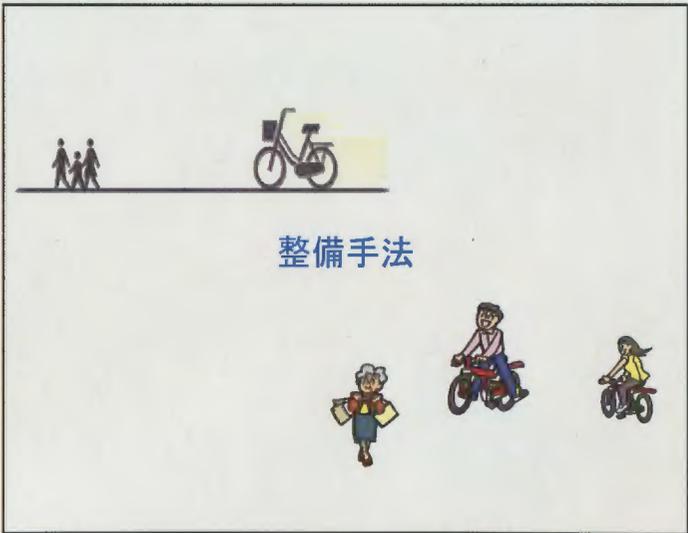
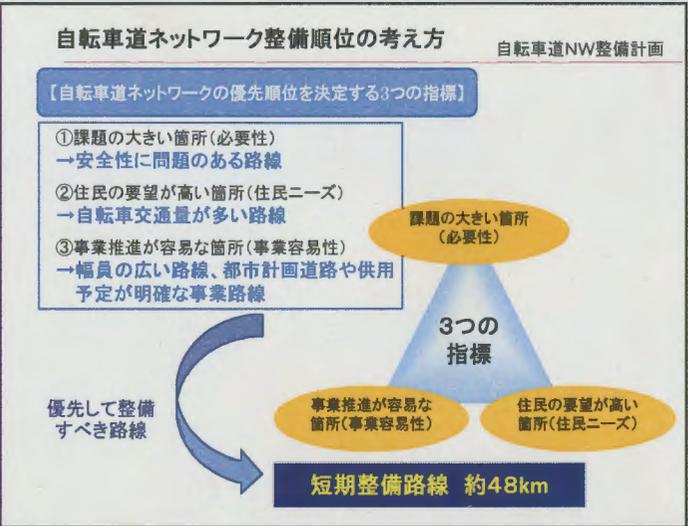
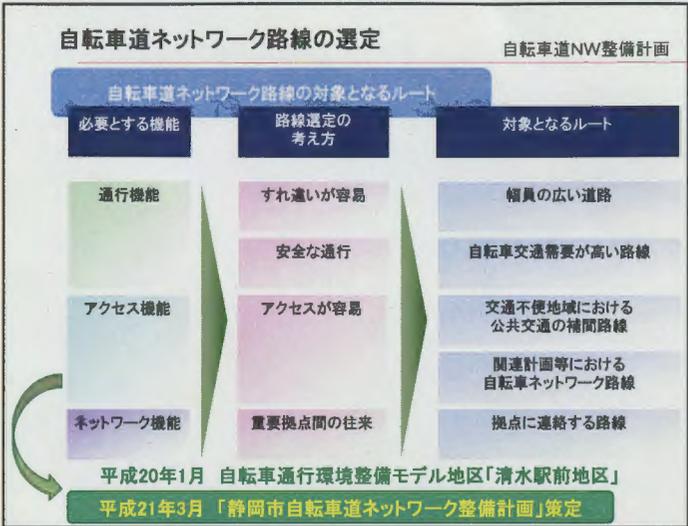
代表交通手段

いくつかの交通手段を乗り換えた場合、その中の主な交通手段

自転車通学  
17,253人(約8割)

地域	自転車	鉄道	自動車	徒歩	その他
全国	15%	10%	55%	15%	5%
静岡中核都市圏	20%	10%	50%	15%	5%
静岡市	20%	10%	50%	15%	5%
高区・駿河区	20%	10%	50%	15%	5%
清水区(清水地区)	20%	10%	50%	15%	5%
清水区(静岡・由比地区)	20%	10%	50%	15%	5%



### 自転車走行空間の整備形態

自転車道NW整備計画

自転車と自動車の分離	整備手法	整備イメージ	自転車と自動車の分離	整備手法	整備イメージ
構造的な分離	自転車道		混在	自転車走行誘導帯 ブルーレーン	
視覚的な分離	自転車専用進行帯 自転車レーン			自転車走行標示	

## 自転車走行空間の整備形態

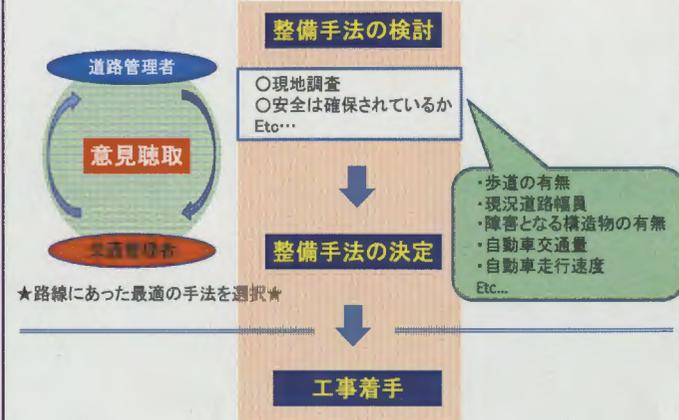
自転車道NW整備計画

自転車と自動車の分離	整備手法	整備イメージ	自転車と自動車の分離	整備手法	整備イメージ
構造的な分離	自転車歩行者道	 ※物理的分離	混在	自転車歩行者専用道路	
		 ※視覚的分離			

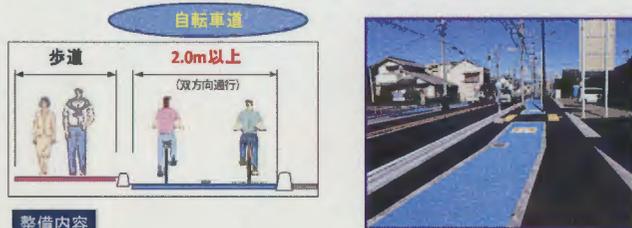
### 整備形態の考え方

既存の道路幅員内での自転車走行空間の確保  
 → 低コストで現実的な整備を実施

## 整備までの流れ



## 自転車道について



### 整備内容

- ・自転車と歩行者の通行帯を物理的に分離
- ・自転車走行帯を青色に着色
- ・自転車、歩行者の通行帯を明示する啓発シールを設置

### 適用基準

- ・必要幅員2.0m以上(やむを得ない場合1.5m以上)

## 自転車道 整備事例

丸子新田広野三丁目線



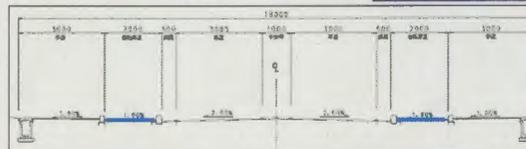
整備前



整備後

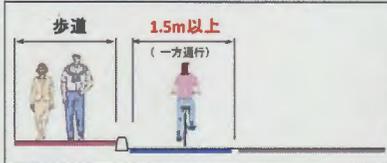


計画標準断面図



## 自転車専用通行帯(自転車レーン)について

### 自転車レーン



#### 整備内容

- ・自転車走行帯を青色に着色
- ・「自転車専用」「矢印マーク」の路面標示を設置
- ・通行帯を示す標識を設置

#### 適用基準

- ・必要幅員1.5m以上(やむを得ない場合1.0m以上)
- ・自動車速度50km/h以下、自動車交通量2,000台/h以下
- ・1km程度の連続したレーンを確保できること
- ・都市型側溝と合わせて整備すること

## 自転車専用通行帯(自転車レーン)整備事例 1

### (一) 藤枝静岡線(本通り)



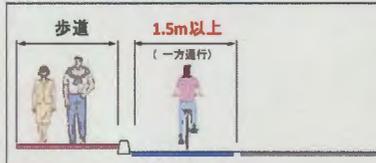
## 自転車専用通行帯(自転車レーン)整備事例 2

### 車町新富町線(土手通り)



## 自転車専用通行帯(自転車レーン)について

### 自転車レーン



#### 適用基準

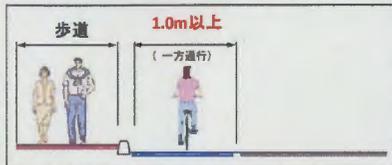
- ・必要幅員1.5m以上(やむを得ない場合1.0m以上)
- ・自動車速度50km/h以下、自動車交通量2,000台/h以下
- ・1km程度の連続したレーンを確保できること
- ・都市型側溝と合わせて整備すること



既存道路の制約条件から、多くの道路では「自転車レーン」での整備が困難

## 自転車走行誘導帯(ブルーレーン)について

### ブルーレーン



規制を伴わない路側帯カラー化

車道及び歩道の幅員に余裕がなく、自転車レーンや自転車歩行者道が適用できない路線

### 整備内容

- ・外側線の内側を青色に着色
- ・自転車の進行方向、通行位置を示す啓発マークを設置

### 適用基準

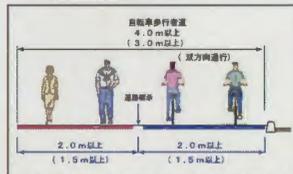
- ・必要幅員1.0m以上
- ・自動車実勢速度45km/h以下、自動車交通量1,000台/h以下
- ・歩道が整備されていること

## 自転車レーンとブルーレーンについて

	自転車レーン	ブルーレーン
整備条件	必要幅員 1.5m以上 (やむを得ない場合1.0m以上)	1.0m以上
整備に際し	基本的に都市型側溝と合わせて整備	既設L型側溝を利用
道路交通法	通行区分 自転車は車両であり、車道を通行しなければならない。	規定なし(車道の路肩)
通行帯	車両通行帯	規定なし(車道の路肩)
自動車の走行	自転車以外の車両は通行不可。	路肩は車道であるため、法律上は車両の通行は可能とも考えられる(法上ではあいまい)。
	法律で自転車走行が守られた空間	法律で自転車走行が守られていない空間
		
		グリーンベルトの自転車版

## 自転車歩行者道の基本幅員について

### 自転車歩行者道



(一) 静岡環状線(水落~国1)



### 整備内容

- ・歩道内で自転車と歩行者の通行帯を区画線(実線or破線)で分離
- ・自転車と歩行者の通行帯を明示する啓発シールを設置

### 適用基準

- ・自転車通行部分の幅員は自転車道の縮小規定値に準じて1.5m
- ・歩行者通行部分の幅員は歩行者(占有幅0.75m)2人のすれ違いが可能となる1.5m

## 自転車通行標示の設置について

### 自転車通行標示

大和町秋葉2号線

### 整備内容

- ・外側線の車道側に自転車の進行方向、通行位置を示す啓発マークを設置
- ・路肩は歩行者専用を啓発するため、グリーンベルトを整備



### 適用基準

- ・自動車と完全共存のため幅員規定なし
- ・自動車速度45km/h以下、自動車交通量1,000台/h以下
- ・外側線が設置されていること

